

2013年第4回日本地球化学会評議員会 議事録

日時: 2013年9月13日(金)12:15-12:45、12:45-13:10(次期役員・評議員のみ)

場所: 筑波大学 第一エリア1E棟205号室

出席者: 吉田会長、山本副会長*、板井、岩森*、植松、小畑*、折橋*、川幡*、佐野*、下田、高橋、谷水、谷本、角皆*、平田*、日高*、丸岡、南*、塚本*、横山、豊田 の各評議員、野尻次期副会長、石橋、鍵、川口、鈴木、寺田、奈良岡、藪田、山岡の各次期評議員、清水監事*(オブザーバー参加)

欠席者: 原田*、益田評議員*、大河内次期評議員

(*次期も引き続き役員または評議員)

審議事項

1. 次期評議員会への引き継ぎ事項について

1.1. 前期(2010-2011年度)評議員会から今期(2012-2013年度)評議員会への申し送り事項について

吉田会長より総括がなされた(内容は第3回評議員会議事録に掲載)。項目2の「第3番目の団体」は本会が唯一の団体である現状を確認した。

1.2. 今期評議員会から次期(2014-2015年度)評議員会への申し送り事項について

吉田会長より説明された(内容は第3回評議員会議事録に掲載)。

2. 次期役員・評議員のみによる審議

2.1. 2014-2015年度評議員会における議論ポリシーについて

川幡次期会長より、以下の議論ポリシーが提案され、承認された。

1. 学問の振興+公平・公正
2. ボランティア活動
3. 学会員のための活動
4. Goldschmidt Conferenceの成功への努力

2.2. 2014-2015年度評議員会の活動内容について

川幡次期会長より、以下の活動内容が提案され、承認された。

1. 評議員総事務処理の簡素化(>20%)

山本副会長が中心となり、年末までに具体案をまとめる。

2. 「2040年にいたる研究の夢ロードマップ」の作成(長期)

2014年度年会で会場を1つ多くして意見発表、集約を行う。Task Force (TF) チーフを平田評議員が務める。

3. 「学術大型研究計画への提案準備資料」の作成(短期)

2014年度年会で会場を1つ多くして意見発表、集約を行う。TFチーフを高橋嘉夫会員が務める。

4. 「地球化学研究の現状と将来」の作成(中期)

地球電磁気・地球惑星圏学会(SGEPSS)の発行物を参考に、各々機関の「中期計画」などをもとに、フォーマットに準じて執筆する。TFチーフを鍵評議員が務める。

(庶務幹事・豊田 栄、次期庶務幹事・山岡香子)